



令和4年7月4日

川の自然観察会（河川環境学習）を開催します

～留萌川の自然環境を活かした、グリーンインフラを推進～

留萌開発建設部では、気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、流域全体で水害を軽減させるハード・ソフト一体の治水対策として、「留萌川流域治水プロジェクト」を推進しています。

この度、留萌川流域治水プロジェクトにおけるグリーンインフラの取組の普及を目的として、留萌市立潮静小学校と留萌市立緑丘小学校の児童を対象に川の自然観察会（河川環境学習）を下記のとおり開催します。

記

1. 日時・参加者

令和4年7月13日（水） 9:00～12:00 潮静小学校4年生8人
令和4年7月14日（木） 9:00～12:00 緑丘小学校4年生26人

2. 場所

留萌市幌糠「幌糠水辺の楽校」（別紙参照）

3. 実施内容

簡易水質調査、水生生物調査、魚類観察 等

4. その他

雨天時又は河川水位が高い場合は、予備日に行います。

予備日

令和4年7月20日（水） 9:00～12:00 潮静小学校4年生8人
令和4年8月19日（金） 9:00～12:00 緑丘小学校4年生26人

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-43-5515

治水課 課長 平塚 修二（内線 291）

治水課 流域計画官 法村 賢一（内線 309）

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式Twitterアカウント @mlit_hkd_rm



川の自然観察会 実施場所

別紙



川の自然観察会 実施状況

別紙

[川で遊ぶ際の注意点について]

三密を防ぐため、間隔をあけて着座する。



パネルを用いた危険箇所やライフジャケットの説明

[簡易水質調査]

三密を防ぐため、児童を少数に分けて実施する。



透視度計やパックテストを用いた簡易水質検査の説明

[魚類観察・VR動画体験]

三密を防ぐため、児童を少数に分けて実施する。



留萌川の魚類の説明とVR動画体験

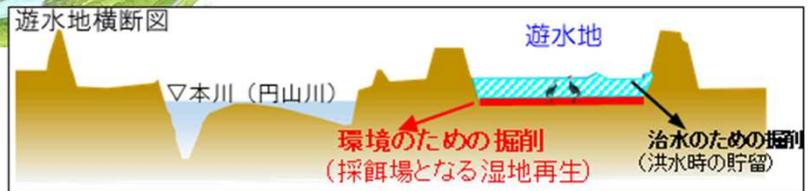
流域治水プロジェクトにおけるグリーンインフラの取り組みの推進

○流域治水プロジェクトにおいて、グリーンインフラの取り組みを反映し、治水と環境の両立した取り組みがスタート

○今後は、生物の多様な生息環境の保全・創出、地域の自然環境と調和する景観形成等の環境の取り組みについても流域のあらゆる関係者とともに推進

● 遊水地や河道の掘削形状を工夫して、生物の生息・生育・繁殖の場となる湿地環境を保全・創出し、生態系ネットワークの形成を図る。

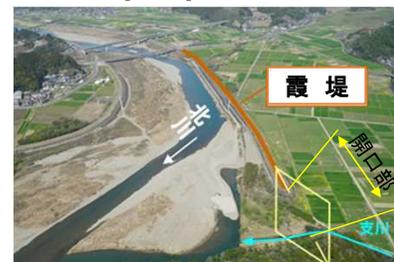
遊水地でのイメージ (円山川)



河道掘削でのイメージ (九頭竜川水系日野川)



● 霞堤を適切に維持し、河川と流域を生息域とする魚類等の連続した環境を保全し、生物の多様性の維持を図る。
霞堤のイメージ (北川)



・本川と支川の連続した環境に生息する生物



● まちづくりと一体となって堤防や護岸を整備し、地域の歴史、文化及び観光基盤と調和する景観を保全・創出し、地域活性化を図る。

堤防整備 (旭川)



堤防整備 (名取川)



護岸整備 (五ヶ瀬川)



護岸整備 (天竜川水系三峰川)



